

農林水産省の御紹介

【農業工学系(総合職)、農村振興技術系(一般職)】

MAFF

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

-
- 1 農林水産省の仕事
 - 2 採用区分とキャリアパス、研修制度
 - 3 採用プロセス、採用実績
 - 4 ワークライフバランス、職員の声

VISION STATEMENT

わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

食料



農業



農村



MISSION

- ◆ 先人から受け継いだ農地や水（農業用水）を守り、さらに発展させる**農業・農村の基盤整備**と、

地域の創意工夫ある取組を後押しする**地域活性化**の政策により、

魅力ある農業・農村を次世代に引き継ぐこと！

- ◆ さらには、蓄積された**基盤整備**の技術やノウハウを用いて、国内のみならず**世界**の食料や農業・農村の課題の解決に貢献すること！



農林水産省の組織

本省

(約5千人)

大臣官房

新事業・食品産業部

統計部

検査・監察部

消費・安全局

輸出・国際局

農産局

畜産局

経営局

農村振興局

農村政策部

整備部

農林水産技術会議事務局

林野庁

水産庁



農林水産省(本省)



有識者を交えた政策検討会議

地方出先機関等

(約1万5千人)

地方農政局

国営事業所 等

森林管理局

漁業調整事務所

植物防疫所

動物検疫所

動物医薬品検査所

農林水産政策研究所



農業農村整備事業(国営事業)の実施



国営造成施設の調査・管理等の実施

全国の農業・農村が舞台

全国の国営事業の実施位置図



全国

- 水田 239万ha
- 畑 200万ha
- 農業用排水路 約40万km以上 (地球10周分) うち基幹的水路 約5万km
- ダム、取水堰、用排水機場等 約7,600箇所

「農業農村振興整備部会 令和元年度第4回 資料3」より

凡例(令和4年度)

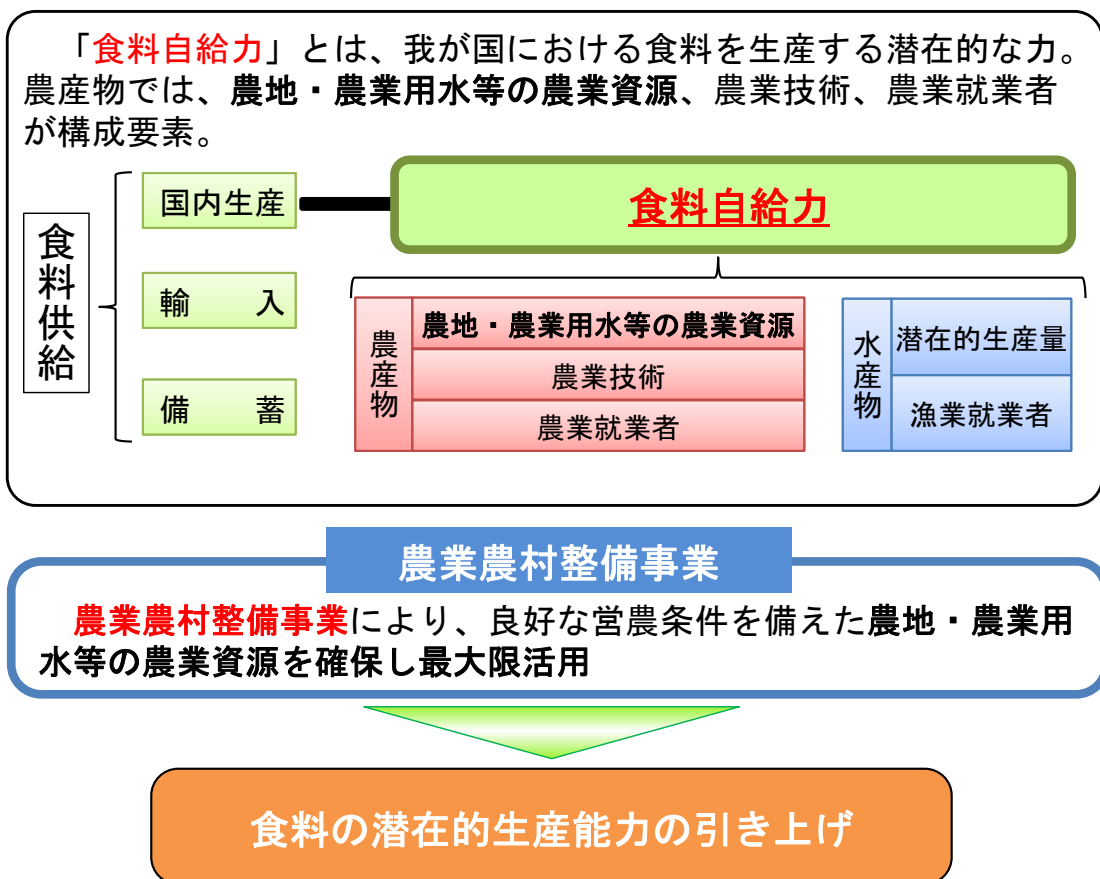
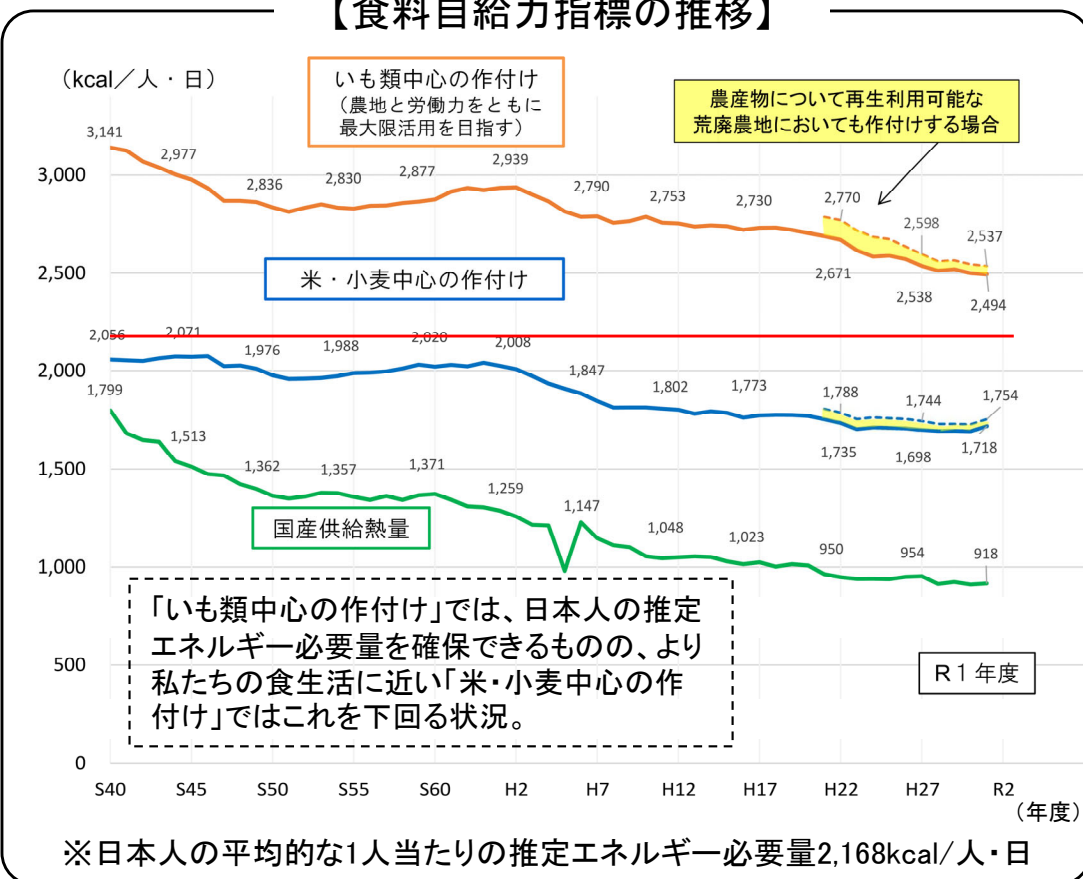
- かんがい排水(101地区)
- 農地再編整備(29地区)
- 農地防災・地すべり(15地区)

日本の農業・農村の基盤をつくる農業農村整備

食料の安定供給を確保する。

- 全ての国民が、健康で充実した生活に欠くことのできない良質な食料を、合理的な価格で安定的に手に入られること、それが農林水産省の責務です。
- しかし、世界的な人口増加、地球規模の気候変動、新型コロナウイルスの感染拡大、さらに世界情勢の緊迫など、食料の多くを輸入に依存する日本にとって、食料供給に影響を及ぼす様々なリスクが顕在化しています。
- このようなリスクに備え、我が国の食料の潜在的生産能力『食料自給力』を引き上げるため『農業農村整備』を強力に推進することが、農業工学系・農村振興技術系職員の大きな使命です。

【食料自給力指標の推移】



スマート農業の実現、強い農業の礎を築く。

- 担い手の確保・育成や耕作放棄地の発生防止・解消に向け、効率的な利用が可能な農地、安定的な農業用水の供給、水管理の省力化など、良好な営農条件の整備が不可欠です。
- 生産コストの削減と収益力の強化のため、自動走行農機、ICT水管理などのスマート農業の実装を可能とする水田の大区画化、水田の汎用化、畑地かんがいなどの基盤整備を推進しています。



全国

- 大区画水田の割合 10.6% (50a以上区画)
- 排水良好ではない水田 49万ha (30a程度以上区画のうち)
- 畑地かんがい整備済の割合 24.2%

「農業農村振興整備部会
令和元年度第4回 資料3」より

インフラを保全・管理し、災害から農業・農村を守る。

- 頻発化・激甚化する災害に対応し、農業・農村を強靱化するため、老朽化した農業水利施設の改修・耐震対策、排水施設の整備、既存ダムの洪水調節機能強化、田んぼダムなどによる流域治水を推進しています。



頭首工の耐震化(堰柱の拡幅)



洪水から農村地域を守る調整池や排水路



農業用ダムからの事前放流

農村地域の活性化のための様々な取組

- 農村地域では、少子高齢化・人口減少が進行する一方、「田園回帰」など農村の持つ価値や魅力が国内外で再評価されており、農村振興局では、地域活性化の取組を後押しする様々な政策を立案・実施しています。

しごと

- 農村発イノベーション
(6次産業化のほか、地域資源と他分野を組合せて新しい事業を創出する取組)
 - ・農泊の推進
 - ・ジビエ利用の拡大
 - ・農福連携の推進



くらし

- 地域コミュニティ機能の維持・強化
 - ・多面的機能支払交付金、中山間地等直接支払交付金
 - ・農村地域づくり事業体※の育成
- 生活インフラの確保 (情報通信環境等)
- 鳥獣被害対策



※複数の集落の機能を補完して、地域資源の保全や農業振興と併せて、買い物・子育て支援等の地域コミュニティの維持に資する取組みを行う事業体

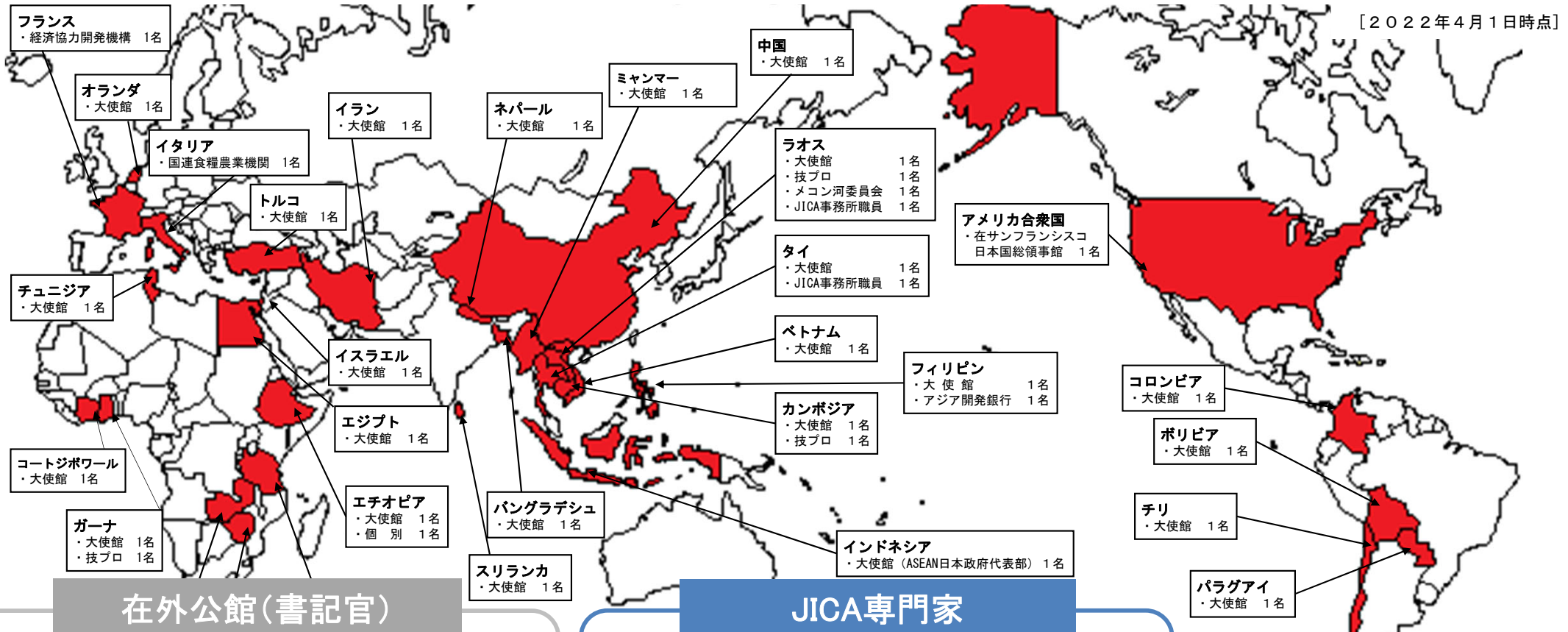
活力

- 地域を支える体制、人材づくり
 - ・農村プロデューサー養成講座
- 農村の魅力の発信、国民の理解の促進
 - ・ディスカバー農山漁村の宝 (優良事例表彰)
 - ・世界農業遺産・日本農業遺産、世界かんがい施設遺産の認定
 - ・棚田地域の振興と魅力の発信 (優良事例集、棚田カード等)



農業農村開発分野における国際協力

- 発展途上国の農林水産業の発展や農村の振興に向け支援を行うことは、日本をはじめとする先進国の責務です。
- 農村振興局では、アジアの国々との技術交流の実施、国際的な枠組み (ICID, INWEPF など) と連携した灌漑技術の展開、政府開発援助 (ODA) による事業の実施等により国際社会に貢献しています。



在外公館(書記官)

- 外交官としての様々な任務
- ODA(政府開発援助)の企画・実施管理、農産物貿易交渉の調整等



JICA専門家

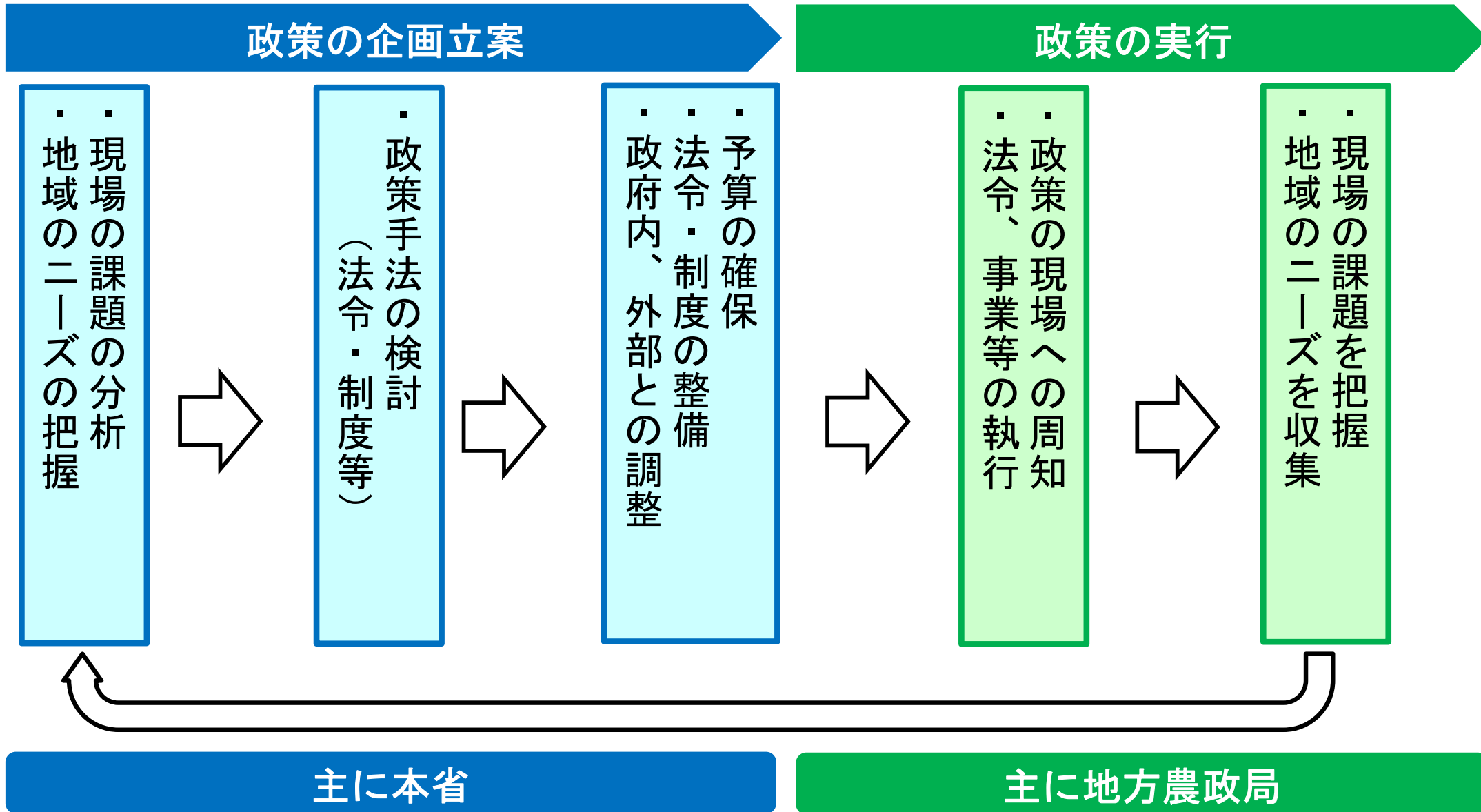
- 現地政府機関等の政策アドバイザー
- 技術協力プロジェクトの専門家(灌漑、水管理等)



国際機関

- 各国際機関の職員として、飢餓・水不足等の世界的な問題の解決に向けた支援業務

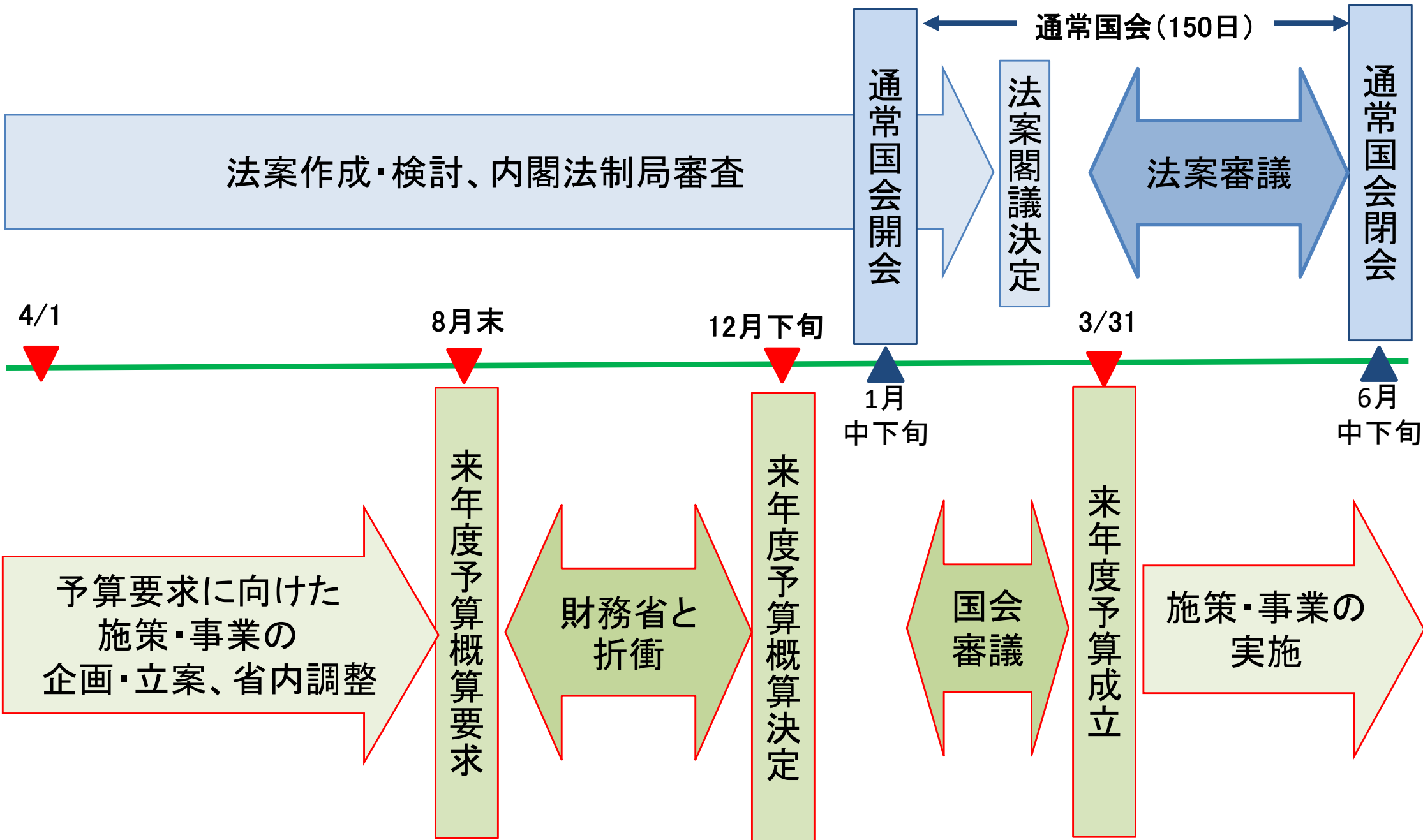
政策の企画・立案から実行までの流れ



総合職：本省で採用。
本省勤務が多い。

一般職：各農政局で採用。
農政局勤務が多い。

国会・予算編成の流れ



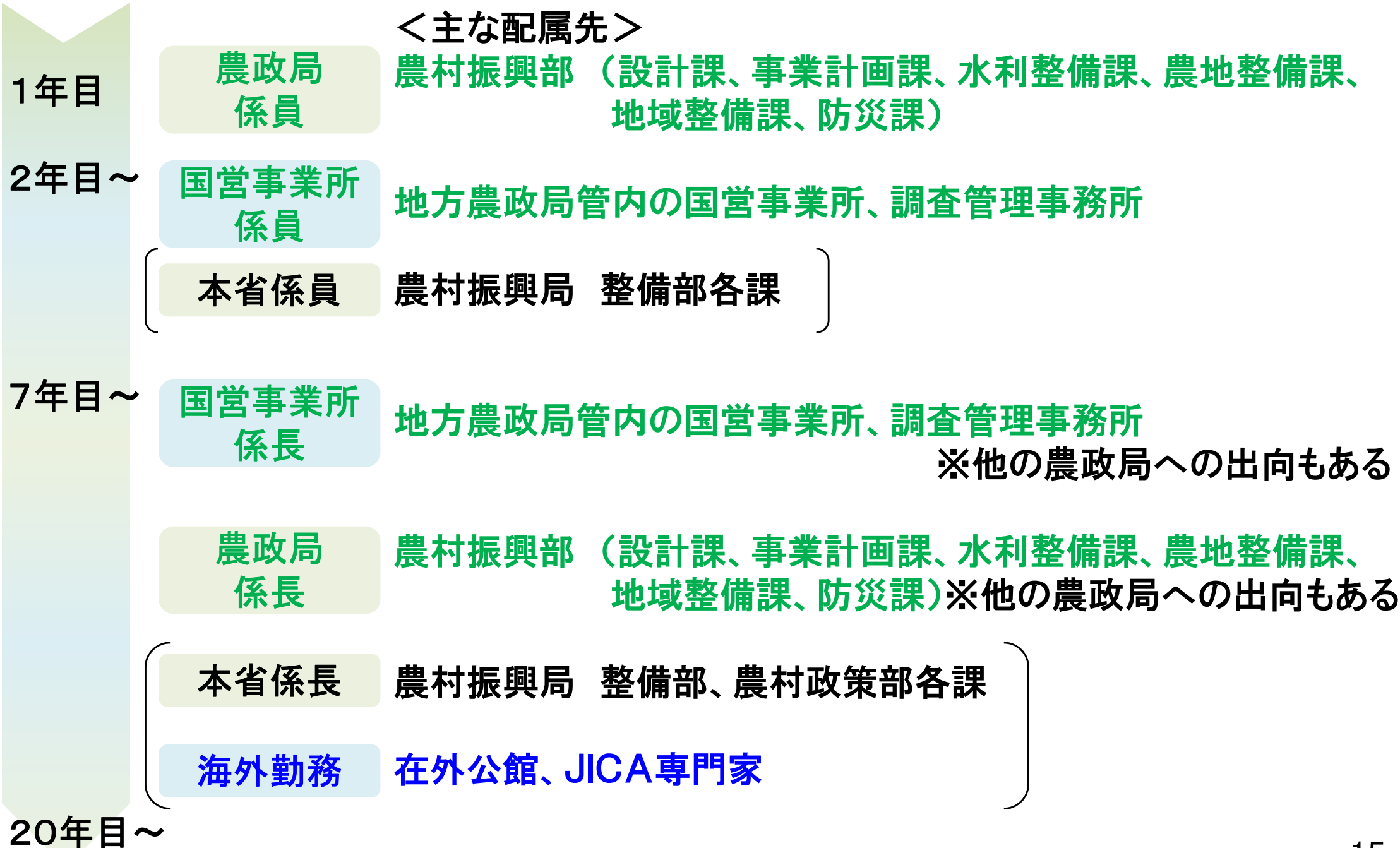
採用区分と業務内容

採用区分		業務の特徴や配属先
<p>【総合職】 農業工学系</p> <p>本省で採用</p> <p>採用対象試験区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業農村工学（農業機械を除く） ・ 工学（うち電気、電子、通信、機械） ・ デジタル 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 本省で全国的視点に立った施策の企画・立案、農政局で各地域の実情を踏まえた調整や農業農村整備事業の実施。 ○ 他省庁、地方公共団体、海外での業務（大使館書記官、JICA専門家など）もある。
<p>【一般職】</p> <p>農村振興技術系</p> <p>地方農政局で採用</p> <p>採用対象試験区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業農村工学 ・ 機械 ・ デジタル・電気・電子 ・ 土木 ・ 農学 ・ 物理 ・ 化学 <p style="text-align: right;">（調査計画のみ）</p>	<p>農業土木</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業農村整備事業の実施など、農村の地域づくりに関する業務。 ○ 主な配属先は、各農政局の本局、国営事業所等（本省、海外等での仕事の機会もある）。
	<p>調査計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業農村整備事業の計画づくり、地域活性化の取組等に関する業務。 ○ 主な配属先は、各農政局の本局、土地改良調査管理事務所、本省等。

総合職のキャリアパスの例

1年目	本省係員	<主な配属先> 農村振興局（整備部、農村政策部各課）
2年目～	国営事業所 係員	地方農政局、北海道開発局、沖縄総合事務局の国営事業所 【海外留学（人事院 行政官長期在外研究員制度）】
5年目～	本省係長 【2～3ポスト】	農村振興局（整備部、農村政策部各課） 他部局（大臣官房、輸出・国際局、経営局等） 他省庁（内閣府、総務省、外務省等）
9年目～	国営事業所 課長	地方農政局、北海道開発局、沖縄総合事務局の国営事業所
	海外勤務	在外公館、JICA専門家、国際機関(FAO等)
16年目～	本省課長補佐 【3～5ポスト】	農村振興局（整備部、農村政策部各課） 他部局（大臣官房、輸出・国際局、農産局等） 他省庁（内閣官房、内閣府、復興庁、国交省、環境省等）

一般職（農業土木）のキャリアパスの例



一般職（調査計画）のキャリアパスの例

1年目～

農政局
係員

<主な配属先>

農村振興部

（農村計画課、土地改良管理課、農村環境課、事業計画課）

調査管理
事務所係員

各地方農政局の調査管理事務所

本省係員

農村振興局 農村政策部、整備部各課

7年目～

調査管理
事務所係長

各地方農政局の調査管理事務所

農政局
係長

農村振興部

（農村計画課、土地改良管理課、農村環境課、事業計画課）

本省係長

農村振興局 農村政策部、整備部各課

20年目～

研修制度

- 職員の能力が最大限発揮されるよう、キャリアパスに応じて様々な研修カリキュラムが用意されています。
- また、従事する業務に必要な知識・技術の修得・向上のための専門的・実践的な研修も充実しています。

初任者研修

農業農村整備の目的や効果及び農業農村工学分野に関する基礎科目を学ぶ。

農業水利基礎養成研修

用水計画に係る基礎的な知識の修得、調査の実習及び水収支計算の演習を行う。

農村派遣研修

農作業を中心とした体験を行うとともに、農家宅へ泊り実習を行う。

係長研修

農林水産行政の施策展開の認識と企画立案能力向上を図る。

工事課長研修

事業を適正に管理・運営し、部下を指導・育成する能力の向上を図る。

幹部候補育成課程研修

業務運営や組織統率に必要なリーダーシップ及びマネジメントについて理解を深める。

専門技術研修・実践技術研修

基礎的かつ実務的な技術知識を習得し、技術者としての能力向上を図る。

施設機械

施工管理

事業計画

事業管理

ストックマネジメント

開水路・パイプライン

水利システム

農村防災・減災技術

農村計画・地域資源

講習会

ダムの管理・保全

用水計画・河川協議

CAD

UAV(ドローン)技術

プレゼンテーション

電気主任技術者

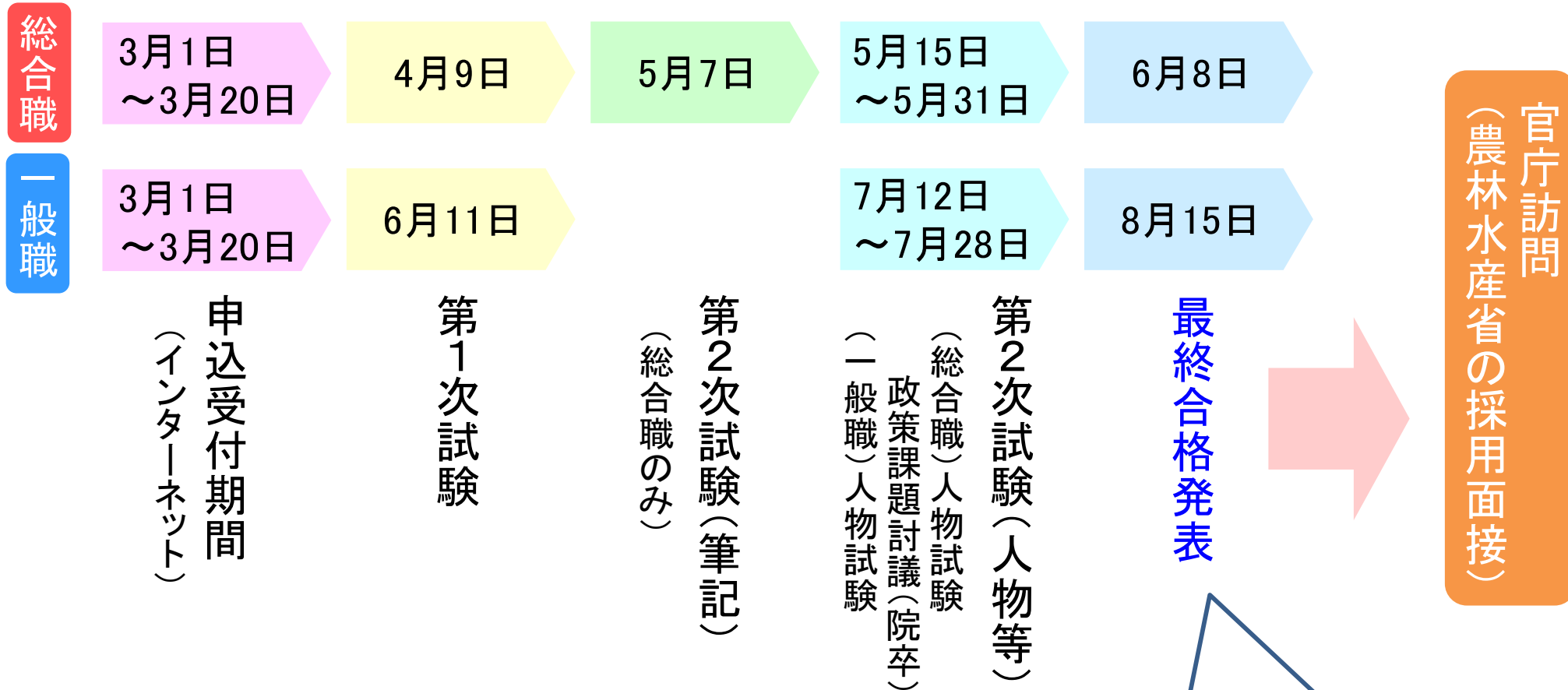
契約・審査

災害復旧技術

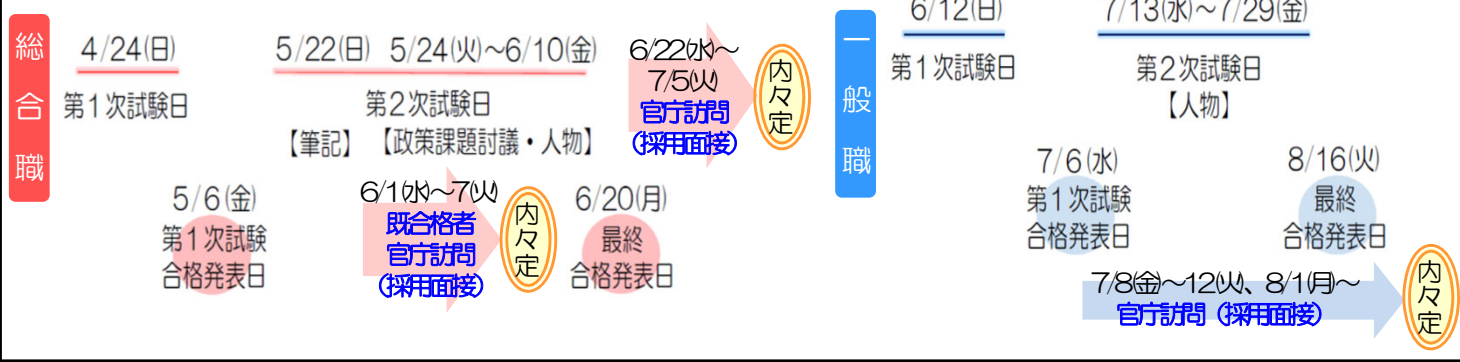
採用プロセス

◆2023年度 採用スケジュール

☆最新の情報は、人事院HP『国家公務員試験採用情報NAVI』を参照。



(参考)2022年度 採用スケジュール



最終合格者は、採用候補者名簿に記載されます。
一度名簿に記載されると**5年間**有効です。
※2022年度試験以前の合格有効期限は3年間。

採用実績（総合職）

試験年度	区分	申込者数	一次試験合格者数	最終合格者数	採用者数
2021	院卒	14 (3)	13 (3)	12 (2)	18 (7)
	大卒	159 (51)	117 (33)	63 (20)	
2020	院卒	25 (6)	14 (2)	9 (1)	19 (7)
	大卒	198 (58)	87 (25)	52 (17)	
2019	院卒	23 (6)	16 (4)	11 (1)	16 (6)
	大卒	204 (77)	72 (27)	38 (18)	
H30	院卒	16 (2)	14 (2)	12 (2)	14 (5)
	大卒	217 (71)	57 (21)	34 (11)	

2022年度総合職 入省者



注1 ()内は女性数で内数

注2 申込者数、一次合格者数、最終合格者数は、試験区分「農業農村工学」の数。

注3 採用者数は、各試験年度の翌年度採用者の数で、過年度試験の既合格者からの採用者を含む。

採用実績（一般職）

試験年度	申込者数	一次試験合格者数	最終合格者数	採用者数	
				農業土木	調査計画
2021	204 (71)	152 (47)	87 (24)	28 (13) 【採用試験区分】 ・農業農村工学 27名 ・機械 1名	6 (2) 【採用試験区分】 ・農学 4名 ・農業農村工学 2名
2020	206 (71)	121 (38)	46 (15)	23 (10) 【採用試験区分】 ・農業農村工学 20名 ・機械 2名 ・土木 1名	7 (3) 【採用試験区分】 ・農学 4名 ・農業農村工学 3名
2019	256 (93)	191 (65)	116 (41)	22 (11) 【採用試験区分】 ・農業農村工学 22名	
H30	236 (78)	179 (57)	119 (39)	19 (12) 【採用試験区分】 ・農業農村工学 19名	

注1 () 内は女性数で内数

注2 申込者数、一次合格者数、最終合格者数は、試験区分「一般職（大卒程度試験）農業農村工学」の数。

注3 採用者数は、各試験年度の翌年度採用者の数で、過年度試験の既合格者からの採用者を含む。また、試験区分「農業農村工学」以外からの採用を含む。なお、調査計画は、農村振興技術系として採用試験を開始した2020年度以降について掲載。

- ◆ 農業・農村に愛着を抱き、新たな課題に挑戦する意欲と情熱にあふれ、積極的に行動できる若い力
 - ・ 現場の様々な課題に気づく感性
 - ・ 関係者とのコミュニケーション
 - ・ 技術者としての専門性（大学で勉強した専門分野を活かす）
 - ・ 時代の変化を見通す広い視野
 - ・ 新たな課題に挑戦するチャレンジ精神

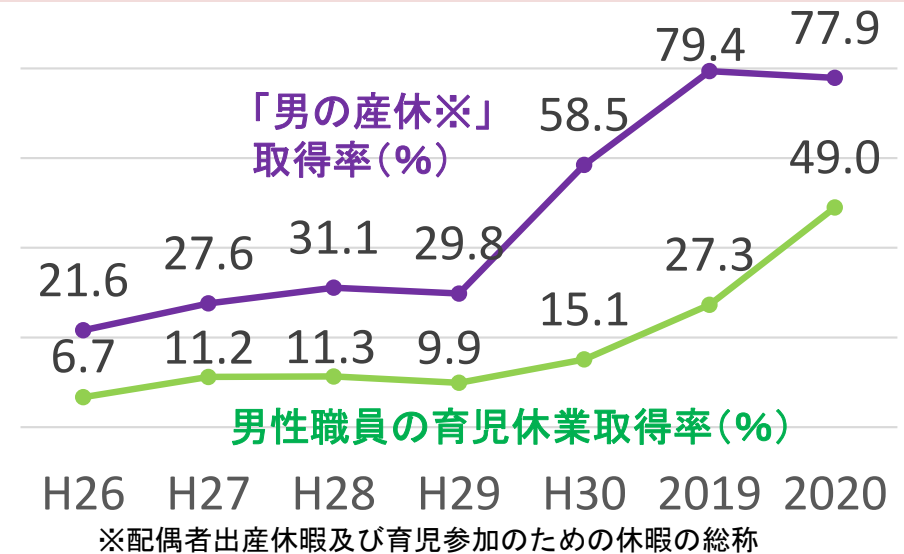
- ◆ 行政官としての様々な経験を通じて自分を成長させたい人

ワークライフバランスに関する取組

主な両立支援制度

産前休暇・産後休暇【女性】	出産の6週間前から出産後8週間までの休暇
配偶者出産休暇【男性】	妻の出産の付添い等のための休暇(2日)
育児参加のための休暇【男性】	妻の産前産後期間中に子を養育するための休暇(5日)
育児休業	一定期間の休業(子が3歳になるまで)
育児短時間勤務	短い勤務時間での勤務(子が未就学まで)
早出遅出勤務	1日の勤務時間数を保ったまま、早出や遅出可(勤務時間の変更)
子の看護休暇	年5日(子が未就学まで)

<農林水産省>
女性の育児休業取得率は100%
男性の育児休業取得率も増加



働き方改革

農林水産省では、全ての職員が能力を発揮しながら、生き生きとやりがいを持って働くことができる職場環境作りを推進しています。

- ✓ 業務の効率化・デジタル化の推進
- ✓ テレワークの推進
- ✓ 的確な勤務時間管理による超過勤務縮減
- ✓ 年次休暇の取得推進



職員の声（総合職）

2021年度入省者の声

仕事の魅力・やりがい

- 国の予算や制度といった大きな仕事に携わることができます。国会議員に説明を行う上司に同行する機会もあります。
- 制度の策定・改定や国会対応など非常に責任のある仕事に携わっていることにやりがいを感じます。
- 補助事業の運用にあたって、地方農政局や都道府県、市町村の職員とやり取りするなど、多くの人と協力して仕事を進めることが魅力です。
- 自分が行った作業や作成した資料が、何らかの形で全国の多面的機能支払交付金の活動組織につながっていると感じられることがやりがいです。
- 「令和3年度かんがい排水事業の概要」という冊子を取りまとめました。調整など非常に大変でしたが、1冊の資料を作り上げやりがいを大きく感じました。

子育て中の職員の声

- 上司や人事の理解があり、個々の職員に寄り添った配慮をいただいています。
- 未就学児のいる現在、突発的な残業が多く発生するポストを担うことは困難ですが、その反面、長期的なデータ蓄積・検証が必要な業務や新しい課題への対応策の検討など、チャレンジングな仕事を任せられ、常にやりがいを感じられる環境です。【本省専門官】
- テレワークや時短勤務制度を活用していますが、同僚の皆さんのサポートにとっても助けられています。夫は民間企業に勤めていますが、私の職場復帰に合わせて基本的に在宅勤務をされており、子どもの保育園の送りや、家事育児を分担してくれています。【事業所課長】

職場の雰囲気

- 1年目で分からないことばかりですが、分からないことは丁寧に教えてくれます。上司とのコミュニケーションがとりやすく、仕事をしやすい環境です。
- 業務量は過度な負担にならないよう職員間で協力し、積極的に定時退庁を行うよう取り組んでいます。
- テレワークや有休取得が行いやすく、多様な働き方に理解がある人が多いです。
- 同期同士のつながりが強く、困ったことがあれば、すぐに同期に相談しています。



職員の声（一般職）

2021年度入省者の声

仕事の魅力・やりがい

- 採用された地方農政局管内での異動が中心になるため、赴任した地域の農業や農村の歴史などに直接触れながら深く関わるのが魅力です。
- 農政局で実施する国営事業の規模の大きさや、国の施策の重要性はもちろん、県営事業などの指導を行っており、施策の効果が現場でどのように現れているか、担当として直接把握できることも大きな魅力です。
- 農業生産の基礎である水の安定供給を担うことに使命感とともにやりがいを感じます。また、日々の業務を通じて、日本の農業を支え、農村の維持・発展に直接貢献していることを現場で実感できることにやりがいを感じます。
- 業務内容は、水利施設の整備やほ場整備などの農業インフラの整備から、防災対策や災害復旧などの国土強靱化の取組、農村の振興や農業の多面的機能の維持・発揮に係わる支援など多岐にわたり、幅広く多様な業務に携わることができます。

育児休暇を活用した職員（男性）の声

- 妻の出産後2ヶ月後に2か月間の育児休業を取得しました。転勤後まもなくの出産でしたので、馴れない土地での子育てへの不安や、昼夜問わずの赤ちゃんの世話で体力的な心配もありましたが、制度を利用して夫婦で協力して育児を行うことができ、とても助かりました。職場でも、休業期間中の業務の調整などフォローがあり、安心して制度を利用することができました。
- 育児休暇期間の経験から子育てへの意識も高まり、妻の手伝いではなく、父親の役割として子育てに取り組んでいます。

職場の印象

- 自分と同世代の人が多く、仕事以外の話などで気軽に話すことができます。また、上司等がいろいろと気に掛けてくれて、質問や相談を行いやすく、コミュニケーションがとりやすい職場だと思います。
- 職場には、農業農村工学系以外の職種の職員も多く、様々な分野のことを学ぶことができます。また、組織や職種の垣根を越えて職員が一丸となって仕事に向かっていく雰囲気があります。
- 有給休暇取得促進や定時退庁日の設定など、ライフワークバランスの確保に積極的な職場です。働くときは働き、休むときは休むことを職場全体に浸透しているため、仕事とプライベートのどちらも大切にしていると感じます。



今後の説明会等の御案内

★オンライン業務説明（毎月1回開催）

本資料に沿ってオンラインで説明を行います。資料を見て興味が湧いた方や、説明を聞きたい、資料について質問したいという方はぜひご参加ください。

特に、初めて説明を聞く方向けに、基本的な業務内容・キャリアパス等について、総合職と一般職の違いも含め丁寧に御説明します。

★オンライン座談会（毎月2回開催）

皆様のご相談・ご質問に農業工学系の採用担当者が丁寧に答えします。

仕事だけではなくプライベートのことも聞きたい方や試験勉強や官庁訪問について質問がある方はぜひご参加ください！

★職場訪問（随時受付）

「大学の先輩と話したい」「職場の雰囲気を知りたい」「関心のある政策について詳しく聞いてみたい」といった要望にお答えします。

対面形式では本省に来ていただき実際の職場を見学できます。

★地方農政局説明会（農村振興技術系）

総合職よりも一般職の説明を聞きたいという方にオススメです。

対面形式は、各地方農政局の本局等で実施しますので、実際の職場を見て働くイメージをつかんでいただけると思います。

その他の説明会やインターンシップ、現場見学会等も農水省HPにてご案内します！

- ・秋/春の技術オープン（1dayの現場見学会）
- ・霞ヶ関オープン
- ・省庁合同説明会 など

ホームページ
をチェック！

お申込方法等の詳細は、農林水産省HP

「業務説明会情報（農業工学系、農村振興技術系）」を御覧ください。



お問合せ先：農林水産省大臣官房秘書課（農業工学系）
Mail: saiyou_noudo@maff.go.jp Tel: 03-3502-5568

初公開！
官僚系 YouTuber 誕生
BUZZMAFF
 ば ず ま っ ぶ

**日本の
 農林水
 産業を
 世界へ**

MAFF
 Ministry of Agriculture,
 Forestry and Fisheries
 農林水産省

チャンネル登録をお願いします！
 農林水産省職員がYouTuberとなり、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや魅力を発信するプロジェクトです。

ばずまっぶ



農業遺産で
**太鼓
 たたき隊**



いま、
 農にゆきます

農 & NOH AND

のーはくちほー



マッスル官僚

腹筋割らないか？
 筋トレしないか？

#健康的食事
 #ボディメイク



考えるだけの人
 卒業しよう！


こんな感じですね。



九州の事業所

九州農政局

九州には14個の事業所があ



番外編 長良川河回堰

・愛知三重の間、木曾川水系長良川にある

とありませんか？



ジビエ

狩りで捕った
 野生動物のお肉のこと



f 農村振興局
 Facebook

農業・農村振興施策や地域の取組などを写真や動画とともにお届けしています！

地域の魅力発信中。

